

<b>■After</b> <b>建築名称</b> 下段: 英語名	<b>南山大学</b> NANZAN UNIVERSITY		
<b>建築用途</b>	大分類 教育施設	小分類 大学	
<b>改修設計者</b>	日本設計、大林組	<a href="#">URL</a>	After 南山大学 レーモンド・リノベーション・プロジェクト保存活用報告書
<b>所在地</b>	愛知県名古屋市昭和区山里町18	<a href="#">Google Map</a>	
<b>改修年</b>	2021年	<b>撮影者</b>	提供: 南山大学
<b>建築規模</b>	0	<b>概要 after</b>	アントニン・レーモンドの建築の価値と建築に込められた建学の精神を伝える事を意図し「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」を立上げ「保存活用工事報告書」を作成。
<b>掲載書誌</b>	新建築2021年4月号、日経アーキ2021年10月28日号		
<b>関連事項</b>	資料: 南山大学 レーモンド・リノベーション・プロジェクト 保存活用工事報告書		<b>概要 before</b>
<b>■Before</b> <b>建築名称</b>	<b>南山大学</b>		
<b>建築用途</b>	大分類 教育施設	小分類 大学	<b>After</b>
<b>■写真</b> Before	1964年、現在地に移転しアントニン・レーモンドにより設計されたキャンパス		
	<b>After</b>	校舎は増築されたが、竣工時のイメージは継承されている。	
<b>撮影提供者</b>	提供: 南山大学	<b>撮影提供者</b>	桐原武志 2021年撮影
<b>■リノベーション内容</b>	<b>キーワード</b> 増築、記録	<b>内容</b> 南山大学では教職員、卒業生、特に若い世代の学生に、キャンパスの設計をしたアントニン・レーモンドの建築の価値を伝えるだけでなく、建築に込められた建学の精神を伝える事を意図し、2017年度に「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」を立ち上げ、キャンパスの改修を行なっている。しかし、時代の経過とともに、その理解が失われてしまうことを危惧し、レーモンド・リノベーションプロジェクトを次の世代に継承するために、拡張・再整備第二期を設計競技で選定された日本設計・大林組設計部の設計共同企業体により「保存活用工事報告書」が作成された。報告書は建築家アントニン・レーモンドの思想、キャンパス変遷が書かれた1章の概説からはじまり、2章の基本調査、2章の改修計画では各建物の現状とレーモンド・リノベーションプロジェクトの精神にもとずきどの様な改修がされたかが詳細に記され、約400ページ工事記録になっている。建築を継承するために記録する事の重要性が伝わる報告書となっている。	<b>撮影提供者</b>
	<b>■備考</b>	0	桐原武志 2021年撮影
<b>■作成者</b> 氏名/所属	桐原武志/Free JIA再生部会		<b>管理者</b> 記載